

# 修学旅行特集

5月30日～6月1日、3年生は関西方面へ修学旅行を実施しました。

事前に十分な学習を行っていたおかげで、生徒一人一人が目的意識を持って旅行に参加していることが、どの場面でも感じられる、充実した3日間でした。歴史的な建物、名所旧跡から何かを感じ取り、バスガイドさん、宿の方々などお世話してくださった方から学び、友だちの新たな一面を発見しました。「熊中だより 10号・11号」では、修学旅行特集として生徒作文(抜粋)を掲載します。

先人のすばらしい知識はいろいろあるが、やはりすごいのは五重塔の耐震高層建築だと思う。それは地震を心配せず、火災を心配することでも明らかだ。そして、五重塔の耐震技術は現代の建築にも使われているというから、やはりすごい。話に聞いているだけでは大きさに実感がわかかなかったが、間近で見ると圧倒された。そして、昔の人々の知恵に触れることができた、しばらくして感じた。

3の1 占部 聖悟

そして、とうとう奈良に来た。その日は、薬師寺が印象深かった。理由は、お坊さんのお話である。その人の言葉は私たちに笑わせ、真剣さは私たちに納得させた。一番心に残った言葉は、「あなたたちのために、陰で支えてくれている人がいる。その人たちのことをおかげさまという。」だ。私は、それを聞いたとき、心の底から「すごい。」と思った。これから、その分私もうまうまいと思つた。

3の1 大原 梨理香



二日目の班別研修では、途中どのバスに乗るか、歩くスピードが速いだの遅いだので少しモメそうになったけれど、どちらも、自分の主張をゆすり合ったのでケンカにはならなかったのが良かった。…中略…

この修学旅行を通して、まず、昔の人がどうやって今日まで歴史ある建物を受け継いできたか、大仏様の存在する意味なども知ることが出来て良かった。また、班のメンバーや旅館で一緒に過ごしたメンバーとの仲を、より一層、深めることが出来、協力の大切さを知った。最後に「喜びと、感謝と、敬いの気持ちを持って」日々の生活につなげていきたい。

3の3 井田 果南子

# 熊中だより

校長室通信  
第 10 号  
北九州市立熊西中学校  
校長 安部朋恵